

令和5年1月31日

肉用牛ゲノミック評価利用者 各位

一般社団法人 家畜改良事業団
家畜改良技術研究所 遺伝検査部

肉用牛ゲノミック評価における基準集団の変更について

肉用牛ゲノミック評価をご利用いただき、誠にありがとうございます。

この度、ゲノミック育種価の算出に関して、平均値ならびに標準偏差を算出する基準となる集団（基準集団）を下記のとおり変更しましたのでご連絡いたします。基準集団は成績報告書裏面にあるとおり、「評価の対象となった個体のうち、全国の繁殖雌牛集団に近い過去3～7年以内に産れた雌集団」を用いております。変更前の評価値に比べ若干の変化は見られますが、大きく変動することはありません。なお、今後1年間は変更後の基準集団を用いる予定です。

記

基準集団に関して

1、生年（5年前±2年）

変更前：平成27～令和元年

変更後：平成28～令和2年

2、頭数

変更前：13,361頭

変更後：14,437頭

3、平均値ならびに標準偏差

平均	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMS-No.	日齢枝肉重量
変更前	5.617	4.329	0.063	-0.112	0.633	2.033	0.002
変更後	9.504	5.574	0.119	-0.095	0.769	2.234	0.006
差	3.887	1.245	0.056	0.016	0.136	0.201	0.005

標準偏差	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMS-No.	日齢枝肉重量
変更前	33.446	6.185	0.429	0.468	1.051	1.365	0.038
変更後	34.102	6.405	0.445	0.459	1.059	1.364	0.039
差	0.655	0.220	0.016	-0.009	0.008	-0.002	0.001